

## 男女共同参画推進連携会議 企画委員会 議事概要

1. 日 時 : 平成27年6月9日(火) 16時～18時

2. 場 所 : 本府3階特別会議室

3. 議 題 :

1. 最近の男女共同参画・女性活躍推進の動きについて
2. 平成26年度男女共同参画推進連携会議の取組状況について
3. パンフレット「ひとりひとりが幸せな社会のために」の改訂について
4. 男女共同参画推進連携会議の今後のあり方について
5. 国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業の採択について

4. 出席者 :

(有識者議員)

大日向議員、羽入議員、飯田議員、石井議員、犬塚議員、牛尾議員、國井議員、権藤議員、徳倉議員、横田議員、渡邊議員

(事務局)

武川 内閣府男女共同参画局長、華房 内閣府大臣官房審議官(男女共同参画局担当)、池永 内閣府男女共同参画局総務課長、澤井 内閣府男女共同参画局男女共同参画推進官、酒井 内閣府男女共同参画局政策企画調査官

5. 議事概要

(平成26年度以降の政府による男女共同参画・女性活躍推進関連の取組について)  
資料1に基づき、内閣府池永総務課長より報告があった。

(平成26年度の男女共同参画推進連携会議およびチーム活動の報告について)  
資料2-1に基づき、平成25年8月～27年5月における連携会議の活動について報告後、  
資料2-2-1～2-4に基づき、國井議員、横田議員、石井議員より各チームの活動状況について報告があった。

(パンフレット「ひとりひとりが幸せな社会のために」の改訂について)  
事務局より資料3-1～3-2を説明後、意見交換を行った。  
委員からの主な意見は以下のとおり。

- ・コンパクトに情報がまとまっているよいツールである。ただし、紙面には限りがあるため、HPに掲載する際には補足データのURLリンクを掲載するなど工夫してほしい。
  - ・データを見て現状でいいと誤解する人もいるので、数値目標を掲載する等により、国が目指していることができる限り一目でわかるようにしてほしい。
  - ・パンフレットに「第3次男女共同参画基本計画」の達成状況を含められるとなお良い。
- 上記の意見も踏まえつつ、引き続き内閣府にてパンフレット作成を進めることとした。

(男女共同参画推進連携会議の今後の活動について)

事務局より資料 4 を説明後、意見交換を行った。

委員からの主な意見は以下のとおり。意見を参考に全体会議で最終案を諮ることとする。

- ・ 2 チーム体制については了解。
- ・ 女性活躍推進の活動をさらに拡大するため、連携会議に参加していない団体とのネットワーク形成、および情報発信が今後の課題。
- ・ 連携会議の役割ではないかもしれないが、ジェンダー統計を取り纏めることや計画などの数値目標について経過をモニタリングする仕組みが必要である。情報の取り纏め先が明確になることが望ましい。
- ・ 各チームの活動において団体同士で連携を組む動きも出てきている。今後、好事例があれば積極的に全体で共有したい。
- ・ エンパワーメント推進は重要。特に企業において制度が整備されても個々人が利用するには、企業のトップの考え方を変え、風土を醸成する必要がある。中小企業同士が連携を深めるネットワークづくりはできないのか。
- ・ 首都圏・地域問わず現実として意思決定権は男性が有していることが多く、彼らの意識を変えることが重要である。他社をベンチマークとすることで企業の取組が加速する。男性リーダーの賛同者や WEPS 賛同企業の取組を積極的に情報発信してはどうか。
- ・ 結果を出している企業に着目し、それを国から発信していく必要がある。男女共同参画への男性の巻き込み方を考えていくことが重要。

(国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業の採択について)

事務局より資料 5-1～5-3、共催団体企画案一覧を説明後、審査を行い、今年度実施の共催事業として、以下の団体からの提案企画案を採択することとした。

- ・ 一般社団法人日本森林学会、一般社団法人日本木材学会
- ・ 一般社団法人東京ニュービジネス協議会、J300 実行委員会
- ・ 特定非営利活動法人日本 BPW 香川クラブ、一般社団法人香川経済同友会
- ・ 国立大学法人岡山大学、一般社団法人岡山経済同友会
- ・ 公立大学法人奈良県立医科大学、一般社団法人奈良県薬剤師会  
一般社団法人奈良県病院協会、公益社団法人奈良県看護協会、一般社団法人奈良県医師会
- ・ 一般社団法人日本女性科学者の会
- ・ 大阪府、大阪府男女共同参画推進ネットワーク
- ・ 一般社団法人大学女性協会

以 上